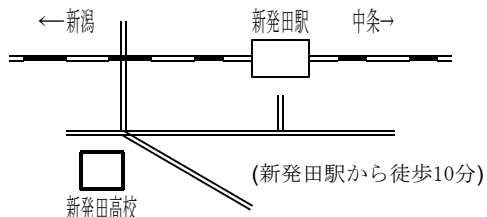




22 新潟県立新発田高等学校

- 所在地 〒957-8555 新発田市豊町3-7-6
[最寄りの交通機関] JR白新線・羽越線新発田駅下車 南口から徒歩10分
- 電話 0254-22-2008
- Fax 0254-26-6307
- URL <http://www.shibata-h.nein.ed.jp>
- 校長名 中戸 義文
- 創立 明治29年10月21日
- 課程 全日制



【校舎(平成21年竣工)正面】

●生徒数854名 (令和元年5月1日現在)

学科名	1年		2年		3年		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
普通	99	147	110	132	118	122	327	401
理数	23	19	31	12	31	10	85	41
計	122	166	141	144	149	132	412	442

●入学者選抜 (平成31年度入試実施予定)

学科	募集定員	一般選抜		
普通	240	調査書：学力検査 (3:7)	傾斜配点 (数学・理科)	学校独自検査・配点 (筆頭検査A・100点)
理数	40	調査書：学力検査 (3:7)		学校独自検査・配点 (筆頭検査A・100点)

※募集定員は平成31年度のもので、令和2年度募集学級数及び募集定員が確定した後、ホームページを更新します。(11月上旬予定)

●学校目標

本校は、社会と連携・協働し、ここに掲げる生き方を身につけた未来の俊傑を育てる。

- (1) 日々創意を新たにして生活の充実向上を図ろう。
- (2) 良識に従う行動によって公民としての責任を果たそう。
- (3) 我が最適の道を選び資質才能を十分に発揮しよう。

●目指す学校像のコンセプト

「質実剛健にして未来の俊傑を目指す」の校是のもと、生徒・保護者・地域・教職員が一丸となり、自ら学び課題解決に向かう「未来の俊傑」の基盤づくりを実践します！



【一体型校舎とスクールモール】

●学校の特徴

明治29年創立の本校は、今年で創立123年目を迎える歴史と伝統を誇る学校です。阿賀北地域の人材育成を担う進学校として地域の信頼を集め、卒業生は2万8千名にのぼります。同窓生は新潟県内だけでなく、広く国内外で活躍しています。入学してくる生徒は、将来地域社会や国際社会に貢献できることを目指し、大学進学のために目を向けて勉学に励んでいます。

本校は、文武両道をモットーとし、全校一丸となって学力向上と部活動の振興に努めています。生徒の創意工夫と良識ある行動を重視しながら、個性に応じた進路目標の実現を目指します。

●スーパーサイエンスハイスクール（SSH）

本校は、平成25年度に文部科学省から5年間のSSH校指定を受け、平成30年度からも、それまで5年間の取り組みの成果やこれからの計画が評価され、継続して5年間の指定を受けました。大学・研究機関などと密接に連携し、地域の特色を生かした課題研究等、様々な取り組みを理数科・普通科ともに積極的に行っています。

課題研究を柱とした探究型プログラムによって科学的思考力を育成し、課題解決に必要なデータリテラシーを習得します。さらに研究成果を社会に還元すべく表現力や発信力も身につけます。こうした新学習指導要領を先取りした教育プログラムの導入によって、科学技術を基盤とした、新領域を創造・開拓する未来のリーダーの育成を図ります。

具体的には、特色ある授業をととして理数系分野に必要な課題探究力を高めます。そして、科学技術をととして世界とつながるコミュニケーション力・英語力を育成するため、2年春に「関東サイエンスツアー」、2年秋に「マレーシア海外研修」を実施します。



【マレーシア海外研修】



【つくば研修(JAXA)】



【星空観測会】

●キャリア教育「未来の俊傑プラン」

本校校歌に謳われる「未来の俊傑」を育むため、総合的な学習（探究）の時間の進路探究活動として「未来の俊傑プラン」を実施しています。一人ひとりの興味関心・希望進路に応じてグループで課題を設定し、調査・実験・観察などを通して協力しながら研究を進め最終的にまとめを発表し、互いに学び合う活動です。

課題探究型の学習を通して、社会とのかかわりの中で自己の在り方や生き方をとらえなおして「我が最適な道」を選択し、社会に貢献できるよう成長することが目的です。



【芝高課題研究発表会】

●学校生活（学科及び教育課程の特色）

本校には普通科（各学年6クラス）と理数科（各学年1クラス）の2学科があります。それぞれ1クラスの定員は40人です。

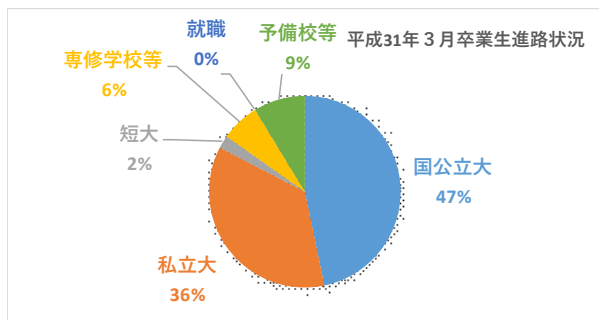
高校での学習は基本的には中学校の学習の延長線上にあります。しかし、どの教科も学習範囲が広くなり、学習内容も一層深くなります。また、2つの学科には次のような違いや特徴があります。

普通科は、1年生は全員同じ教科・科目を学習し、2年生から「文系」と「理系」に分かれて学習します。教科選択の幅も広く、自分の進路目標に応じて科目を選択して学習します。3年生になると「文系」と「理系」それぞれが進路目標に沿った科目選択を行い、さらに内容の深い学習をします。また総合学習「未来の俊傑プラン」や「Data Science & Study I・II」という授業で、自ら考え問題解決していく課題探究型の学習に取り組みます。

理数科は、数学と理科に重きをおく学科です。数学と理科（物理・化学・生物の3科目必修）の時間数を増やし、実習・観察・実験など、かなり高レベルのものにも取り組みます。将来、医学・歯学・薬学・理学・工学・農学といったいわゆる理数系の分野に進もうという生徒のために、特別のカリキュラムが編成されています。SSH校の指定により、さらに興味深い大学レベルの実験・実習や、課題研究ができるようになりました。SSH設定科目として、「Science Study I・II・III」や「Science Literacy I・II・III」の授業が用意されています。また令和元年度入学生から、医学・医療に貢献する人を育てるメディカルコースが設置されました。なお、入学者選抜では普通科を第2志望とすることができます。

本校では授業を大切にし、基礎・基本の確実な定着を図り、生徒の進路目標が達成できる実力を養成するために、**授業を55分**で行っています。

●進路状況



平成31年3月卒業生は、東北大学、大阪大学を始め、国公立大学に129人、その中で地元の新潟大学へは43人が進学しました。

私立大学入試でも健闘し、大学等進学率は84.8%と高い水準を維持しています。

卒業生総数 276人
 センター試験受験者数 268人
 (国公立型受験率 88.0%)

○国公立大学の進学先（129名）（合格者延べ144名）

東北大(1)、大阪大(1)、東京外国語大(1)、弘前大(1)、秋田大(3)、山形大(8)、福島大(4)、宇都宮大(2)、群馬大(3)、埼玉大(1)、東京海洋大(1)、東京学芸大(1)、東京農工大(1)、新潟大(45)、上越教育大(3)、富山大(3)、金沢大(2)、信州大(2)、首都大東京(4)、高崎経済大(4)、新潟県立看護大(5)、新潟県立大(25) など

○私立大学の進学先（99名）（合格者延べ328名）

早稲田大(1)、慶應義塾大(1)、明治大(3)、立教大(4)、法政大(1)、東京理科大(2)、津田塾大(1)、東京女子大(1)、日本大(2)、東洋大(2)、駒澤大(3)、専修大(2)、明治学院大(2)、神奈川大(5)、フェリス学院大(1)、金沢工業大(2)、新潟医療福祉大(12)、新潟青陵大(7)、新潟薬科大(4)、など

●部活動の状況 ※次のような部活動が文武両道を掲げて頑張っています。

体育系 (16)	陸上競技、野球、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス、テニス、卓球、柔道、剣道、バドミントン、登山、ラグビー、サッカー、弓道、空手道、水泳
学芸系 (9)	自然科学（生物班・化学班・物理数学班）、演劇、文芸、合唱、書道、美術、写真、ブラスバンド、E S S



【ラグビー部】



【ブラスバンド部】

平成30年度の主な実績

＜北信越大会出場＞

陸上競技部 女子ソフトテニス部 男子テニス部 卓球部 柔道部 弓道部 水泳部 空手道部

＜全国大会出場＞

女子ソフトテニス部 卓球部 弓道部 将棋

＜全国高校総合文化祭参加＞

自然科学部物理班

●主な学校行事



←【新入生オリエンテーション】（４月）
芝高生としての心構えや学習の仕方を学びます。



←【遠足】（４月）
学年ごとに分かれて
加治川べりまで歩き、
バーベキューやカレー
など班ごとに昼食を
作ります。



←【体育祭】（６月）
１年から３年まですべてのクラス対抗で得点を競い合います。
大きなバナーやクラス旗・Ｔシャツの作成なども競いますが、
毎年３年生が圧倒的な強さを見せます。



←【応援練習】（４月）
芝高の伝統行事です。
この厳しさを経験して
真の芝高生になります。



←【杉原祭】（９月）
本校の文化祭は芝高が立地する昔の地名にちなみ「杉原祭」
(すぎわらさい)と呼ばれます。文化系クラブの発表の場
あり、また各クラスが企画・立案を競う場でもあります。

●在校生からのメッセージ

新発田高校では勉強と部活の両立に全力で取り組むことができます。高校の学習は内容が難しくなり、予習や復習が必要です。部活に入ると時間が足りない、と心配な人もいるかもしれませんが、でも大丈夫です。休み時間や何かの待ち時間などのすきま時間に勉強したり、授業に集中して取り組んだりすることで十分力が付きます。また、部活動を通して集中力や忍耐力が鍛えられ、学習面にも良い影響を与えてくれます。さらに、何事にも一生懸命取り組む生徒が多く、互いに高め合いながら、毎日楽しい学校生活を送っています。皆さんも、新発田高校で充実した高校生活を送ってみませんか？
(普通科女子)

●学校納付金 学校納付金については次のものがあります。（令和元年度１年生実績額）

(1) 入学料 5,650円（入学時）

※入学料の減免制度については、事務室にお問い合わせください。

(2) 授業料（全日制）9,900円（月額）

※所得制限により就学支援金が支給されない世帯（保護者等（主に両親２名分）の平成30年度の県民税所得割額と市町村民税所得割額の合計額が月額507,000円以上の世帯）については、上記の授業料を納めていただきます。

(3) 学年費 116,000円（年額：副教材・模試・日本スポーツ振興センター会費他）

(4) 修学旅行積立金 90,000円（年額：１年次分）

(5) 生徒会費 10,000円（年額：うち入会金1,000円）

(6) 後援会費 9,000円（年額：入会金1,000円、会費6,000円、学力向上対策費1,000円、ロッカー維持費1,000円）

(7) 奨学会費 6,000円（3ヶ年分）

※この他に、入学時に制服（男子：標準型学生服、女子：約38,000円）、体操着（18,350円）、指定シューズ（内履き4,900円、外履き4,100円）教科書（普通科8,100円、理数科10,964円）、副教材（学年費で充当）などが必要になります。